

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成29年3月23日 (2017.3.23)

【公開番号】特開2015-106315(P2015-106315A)

【公開日】平成27年6月8日 (2015.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-037

【出願番号】特願2013-248640(P2013-248640)

【国際特許分類】

G 0 6 T 7/00 (2017.01)

E 0 5 B 49/00 (2006.01)

G 0 6 K 7/00 (2006.01)

G 0 6 K 7/10 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 7/00 3 0 0 F

E 0 5 B 49/00 F

G 0 6 K 7/00 U

G 0 6 K 7/10 P

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月17日 (2017.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

出入口の施錠管理を行う施錠システムと通信可能に接続された情報処理装置であって、識別情報をグループごとに分けて記憶する記憶手段と、
撮像装置により撮影された映像を入力する入力手段と、
前記入力手段により入力した映像に含まれる識別情報を複数検出する識別情報検出手段と、
前記入力手段により入力した映像に含まれる人物を複数検出する人物検出手段と、
前記記憶手段に記憶された情報に従い、前記識別情報検出手段により検出された識別情報が、同一のグループに所属するかを判定するグループ判定手段と、
前記識別情報検出手段により検出した識別情報の数と、前記人物検出手段により検出した人物の数とが一致する場合であって、前記グループ判定手段により、前記識別情報検出手段により検出された識別情報が同一のグループに所属すると判定された場合に、前記施錠システムに対して、出入口を解錠する旨の指示を出す指示手段と、
を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記グループ判定手段は、さらに、前記識別情報検出手段が、前記記憶されたグループに属する識別情報の全てを検出したかを判定することを特徴とし、
前記指示手段は、前記グループ判定手段により、前記識別情報検出手段により検出された識別情報が同一のグループに所属すると判定され、かつ、当該グループに属する識別情報の全てを検出したと判定した場合に、出入口を解錠する旨の指示を出すことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記記憶手段は、さらに、識別情報と顔画像とを対応付けて記憶することを特徴とし、

前記情報処理装置は、さらに、
前記入力手段により入力された映像から、人物の顔を検出する顔検出手段を備え、
前記指示手段は、前記顔検出手段により前記識別情報とともに当該識別情報に対応付けられた顔画像が検出された場合に、出入口を解錠する旨の指示を出すことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記指示手段は、
前記顔検出手段により検出された前記識別情報に対応付けられた顔画像の数が、所定の数を満たす場合に、入口を解錠する旨の指示を出すことを特徴とする請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

出入口の施錠管理を行う施錠システムと通信可能に接続され、識別情報をグループごとに分けて記憶する記憶手段を備えた情報処理装置における情報処理方法であって、
前記情報処理装置の入力手段が、撮像装置により撮影された映像を入力する入力工程と、
、
前記情報処理装置の識別情報検出手段が、前記入力工程において入力した映像に含まれる識別情報を複数検出する識別情報検出工程と、
前記情報処理装置の人物検出手段が、前記入力工程において入力した映像に含まれる人物を複数検出する人物検出工程と、
前記情報処理装置のグループ判定手段が、前記記憶手段に記憶された情報に従い、前記識別情報検出工程において検出された識別情報が、同一のグループに所属するかを判定するグループ判定工程と、
前記情報処理装置の指示手段が、前記識別情報検出工程において検出した識別情報の数と、前記人物検出工程において検出した人物の数とが一致する場合であって、前記グループ判定工程において、前記識別情報検出工程において検出された識別情報が同一のグループに所属すると判定された場合に、前記施錠システムに対して、出入口を解錠する旨の指示を出す指示工程と、
を備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項 6】

出入口の施錠管理を行う施錠システムと通信可能に接続され、識別情報をグループごとに分けて記憶する記憶手段を備えた情報処理装置において実行可能なプログラムであって、
、
前記情報処理装置を、
撮像装置により撮影された映像を入力する入力手段と、
前記入力手段により入力した映像に含まれる識別情報を複数検出する識別情報検出手段と、
、
前記入力手段により入力した映像に含まれる人物を複数検出する人物検出手段と、
前記記憶手段に記憶された情報に従い、前記識別情報検出手段により検出された識別情報が、同一のグループに所属するかを判定するグループ判定手段と、
前記識別情報検出手段により検出した識別情報の数と、前記人物検出手段により検出した人物の数とが一致する場合であって、前記グループ判定手段により、前記識別情報検出手段により検出された識別情報が同一のグループに所属すると判定された場合に、前記施錠システムに対して、出入口を解錠する旨の指示を出す指示手段として機能させるためのプログラム。